



たかさき 薪能

Takasaki Takigimonu

第18回たかさき薪能

城址公園庁舎前広場(高崎市役所前)

雨天の場合：群馬音楽センター

平成15年10月10日(金)午後4時30分開場 午後6時開演

(午後5時30分より演目解説)

観覧券発売中

A席¥5,000(当日券¥5,500) B席¥4,000(当日券¥4,500) C席¥3,000(当日券¥3,500)

仕舞 (宝生流)	狂言 (大龍流)	悪太郎	能 (宝生流)	花月	会場	城址公園庁舎前広場(高崎市役所前)	プレイガイド	高崎市文化会館(027-325-0681)
岩 船: 小倉 健太郎	シテ(悪太郎): 山本 東次郎	シテ(花月): 高橋 勇	シテ(花月): 高橋 勇	会 主	高崎市・(社)高崎観光協会	群馬音楽センター(027-322-4527)	高島屋(027-327-1111)	
玉 葱: 高橋 直	アド(船 父): 山本 剛直	ウキ(替): 菊田 謙吉	ウキ(替): 菊田 謙吉	お問い合わせ	TEL:027-321-1257	スズラン(027-328-1111)	ラジオ高崎(027-322-5555)	
	アド(替): 山本 剛直	間	間	後 援	高崎商工会議所	ラジオ高崎(027-322-5555)	高崎観光協会(027-321-1257)	

演目解説

能 花月



花月 写真 藤田 邦平

筑紫彦山の僧が早春の清水寺を訪れ、幼い頃行方不明になった我が子のために出家したことを語る。門前の男に呼ばれ、花月という寺の少年が僧の前に現われ、恋の小歌を謡い、鶯を弓矢でねらうが、殺生のいましめにより思いとどまり、清水寺の縁起の曲舞を謡う。

僧は花月が我が子だと気づき、親だと名乗る。花月は福鼓を打ち、天狗にさらわれて山々を巡った思い出を舞う。二人は再会を喜び、仏道修行に旅立っていく。

狂言 悪太郎



今日もどこかでしたたか飲んだ悪太郎、飲み足らず、伯父の家を訪れ、酒をねだりました。かねてより悪太郎が酒を飲んで乱暴を働き悪行を重ねているという噂を聞いていた伯父は厳しく意見します。しかし、調子の良い悪太郎は「明日からきっぱり酒を止める」と断言し、名残に是非飲ませてほしいと言いつつ酒を振る舞ってしまいます。結局いつものように飲み過ぎて帰路、道端に寝込んでしまうのです。

そんな酒にだらしない悪太郎にも生き方を変える転機が訪れました。目覚め、いつの間にか姿が変わった自分に驚きます。その悪太郎の前へ修行の出家が通ります。不思議な巡り合わせで悪太郎は運命を変えるのでした。

なお、「悪太郎」の「悪」とは「悪い」という意味ではなく、「猛々しい」「強い」ということを表す言葉です。

演者及びスケジュール(予定)

17:30~17:50	演目解説 吉永 哲郎	(20分)
17:50~18:00	休憩	(10分)
18:00~18:15	あいさつ・火入れの儀	(15分)
18:15~18:30	仕舞(宝生流) 岩船 小倉 健太郎 玉麴 高橋 亘 地謡 波邊 茂人 野月 聡 水上 優 小倉 伸二郎	(15分)
18:30~19:15	狂言(大蔵流) 悪太郎 シテ(悪太郎) 山本 東次郎 アド(伯父) 山本 剛直 アド(僧) 山本 剛重	(45分)
19:15~19:30	休憩	(15分)
19:30~20:30	能 花月(宝生流) シテ(花月) 高橋 勇 ワキ(僧) 殿田 謙吉 大鼓 安福 光雄 小鼓 鶴沢 洋太郎 笛 田中 義和 間 山本 剛俊 地謡 小倉 伸二郎 今井 泰行 波邊 茂人 小倉 敏克 水上 優 武田 孝史 小倉 健太郎 高橋 亘 後見 寺井 良雄 野月 聡	(60分)
20:30	終演(予定)	

